

学校名 霧島市立牧之原中学校

項 目	活動内容等
1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由	<p>平成 30 年度より 7 年目となる活動である。総合的な時間の学習で、生徒が住んでいる地域の公民館長と話し合い、公民館の清掃や地域の公共物の清掃を行っている。活動内容を決める前に、公民館長より地域の実態を聞き、整理、分析させる。その話し合いを行った上で当日の地域貢献策、活動内容を決定する。各地域で毎年清掃活動は外せない活動として取り組んでいる。</p> <p>また、清掃活動だけでなく、昔遊びなどの交流活動や地域の高齢者の方にメッセージカードを作成する活動を行っている。</p>
2 受賞候補校等の活動状況等 (1) 活動の動機・頻度 ① 活動を始めた動機及び開始年月	<p>「ふるさとを愛し、貢献しよう」という意欲をもたせるために、生徒に検討させるところから始まり、現在のような形となった。地域の実態を収集（公民館長の話）・整理・分析し、生徒自らふるさと貢献策・活動内容を取り決め、協働して取り組んでいく。 平成 30 年 11 月開始</p>
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	<p>牧中 ふるさと貢献学習</p>
③ 月間又は年間活動回数	<p>6/8 (土) 事前学習 牧中校区の実態について、自分たちで意見を出し合う。 自分たちで、実施できる貢献活動の内容を考える。 6/21 (金) 公民館長との意見交換、活動の練り上げをする。 中学生に期待する地域貢献策等の公民館長講話を聞き、意見交換を行い、活動計画を立てる。 7/5 (金) 各地域の代表者がリーダーとなり、活動内容の確認や準備の最終チェックを行う。 7/9 (火) ふるさと地域貢献活動当日。8:45~12:00 開会行事 → 活動 → 閉会行事 7/17 (水) 福山支所長・各公民館長を招いての活動報告会。 評価・活動反省・課題を報告する。</p>

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	西牧之原：庭掃除・花壇の手入れ 東牧之原：公民館の清掃・高齢者への手紙 ：ニュースポーツ（交流） 下牧之原：公民館内の障子の張り替え ：公民館外遊具清掃・グランドゴルフ（交流） 塚脇：公園の清掃・草集め・小学生との交流 佳例川：草刈り・農作物収穫 福沢：カーブミラー清掃・公民館外清掃 ：ごみ拾い・メッセージカード
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西牧之原：20名 ・ 東牧之原：21名 ・ 下牧之原：30名 ・ 塚脇：10名 ・ 佳例川：7名 ・ 福沢：11名
⑥ 活動1回当たりの平均時間	2.5時間
⑦ 収集物の処理	各公民館で処理を行う。
(2) 活動の独創性 活動の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒が事前に調べ、話し合い活動を決める。 ・ 美化活動、清掃活動だけでなく、地域に貢献する活動が含まれている。（交流活動等） ・ 7年間続いており、地域の方々が、大変協力的である。 ・ 活動報告会を開き、公民館長等に今後のアドバイスをもらい、次年度の活動に反映させている。
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	ふるさと貢献活動を行うことにより、ふるさとへの意欲・関心が高まり、地域の環境美化への関心も高まる。地域行事への参加生徒が増える。
② 地域住民との協力活動	保護者を含めて、地域の方々が活動に協力している。
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の美化活動を温かく見守っている。 ・ 手紙を送る活動は高齢者に大変好評である。

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な環境や環境問題に関心をもち、人間活動と環境等との関わりについて、総合的に理解、認識させるという目標そのままの活動と思われる。 ・ 分析、整理、立案、活動、反省、改善と総合的な活動である。
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の美化に関する意識の向上 ・ 異年齢集団による活動で、リーダーシップを発揮することから、学校生活での縦割り清掃への積極性が見られた。
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年3回の保護者・地域の方々（学校応援団）による校内美化活動 ・ 学校生活の中での縦割りでの清掃作業
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか （受賞年月日と表彰機関名）	<p style="text-align: center;">なし</p>
(6) 校内外活動のための時間の作り方	<p style="text-align: center;">総合的な学習の時間を活用</p>
3 その他特記事項	<p style="text-align: center;">なし</p>

6月21日（金）の公民館長との話合いの様子



7月9日（火）活動の様子



7月17日（水）報告会の様子



「ふるさと貢献学習」実施計画

1 目的

- ・ふるさとが抱える問題や課題に気づかせる。
- ・地域の実態を収集・整理・分析させ、協働して問題解決に取り組ませる。
- ・ふるさとを愛し、貢献しようとする意欲を持たせ具体的に行動させる。

2 実施日時

令和6年7月9日(火) 8:45~12:00(打ち合わせを含む)

3 事前学習

【1時間目】令和6年6月8日(土)3校時

- ① 社会問題である過疎化、超高齢化の実態を紹介し、牧之原中校区内の実態を知る。
- ② 地域が抱える問題や課題を整理する。
- ③ 自分たちなりの貢献活動の内容を考える。

【2時間目】令和6年6月21日(金)5校時

13:45~14:35

公民館長さんに来校していただき、生徒たちと意見交換、活動計画を練る。

(案内状:教頭)

・地域の課題

・中学生に期待する「地域貢献策」

(例) 公民館や周辺の清掃活動、独居老人宅への訪問、地域行事で使用する道具類の点検・補修、高齢者や地域活動団体との交流等

・晴天時・雨天時の活動計画

・必要なもの、事前準備が必要なものについての確認

【3時間目】令和6年7月5日(金)6校時

- ① 活動内容の確認、まとめを行う。
- ② 活動に向けた最終確認を行う。

4 地区別生徒数,担当職員一覧(予定)

地区	1年	2年	3年	合計	担当職員
西牧之原	5	4	8	17	中田、色澤
東牧之原	6	3	6	15	鶴我、橋元
下牧之原	8	4	11	23	松岡、古里
塚脇	0	4	0	4	濱崎
福沢・福地	0	1	2	3	畠中
佳例川・比曾木野	0	1	1	2	慶田
校区外	1	0	0	1	

※ 校区外居住の生徒を含む

令和6年度 ふるさと貢献学習

地区ごとの活動内容

地区名	内容
西牧之原	[晴天時] ① 庭掃除 ② 花壇の手入れ [雨天時] ① セタつくり ② カルタ、なんこ
東牧之原	[晴天時] ① 公民館の掃除 ② 高齢者への手紙書き ③ ニュースポーツ [雨天時] (晴天時と同じ)
下牧之原	[晴天時] ① 公民館内の障子張り替え ① 公民館外の遊具清掃 ② 駐車場改修記念グランドゴルフ大会 [雨天時] ① 公民館の窓拭き ① 公民館の障子張り替え ② モルック
塚脇	[晴天時] ① 公園の清掃 (草集め) ② 小学生との交流 (鬼ごっこ・ドッジボール・一輪車の練習) [雨天時] ① 小学校体育館の清掃 ② 小学生との交流 (鬼ごっこ・ドッジボール・一輪車の練習)
佳例川	[晴天時] ① 草刈り ② 農園の農作物収穫 [雨天時] ① 体育館の掃除 ② 観光農園の調査
福地 福沢	[晴天時] ① カーブミラー清掃 ② 公民館外掃除 ③ ゴミ拾い ④ メッセージカード [雨天時] ① 公民館内のそうじ ② メッセージカード

「ふるさと貢献学習」報告会

霧島市立牧之原中学校

- 1 ねらい
- ふるさと貢献学習の振り返りを行い、自己の「ふるさと」に対する思いを見つめ直したり、今後の地域での活動に生かしたりする。
 - 体験学習で行ったことや感じたことを、地域の方にしっかり伝える機会とする。

- 2 報告会日時
令和6年7月17日(水) 13:45~14:35

- 3 報告会場所
本校体育館

4 報告会の流れ

(1) 開会の言葉 (進行)

(2) 報告会

ア 下牧之原	各公民館ごとの発表 進行役(1名)	
イ 福沢	整列 → 一同礼)
ウ 東牧之原	① 活動目標と活動内容 (代表)
エ 塚 脇	② 活動のようすと活動反省 (数名)
オ 西牧之原	③ まとめ (リーダー)
カ 佳例川	④ 各公民館長さんから講評)
	整列 → 一同礼)

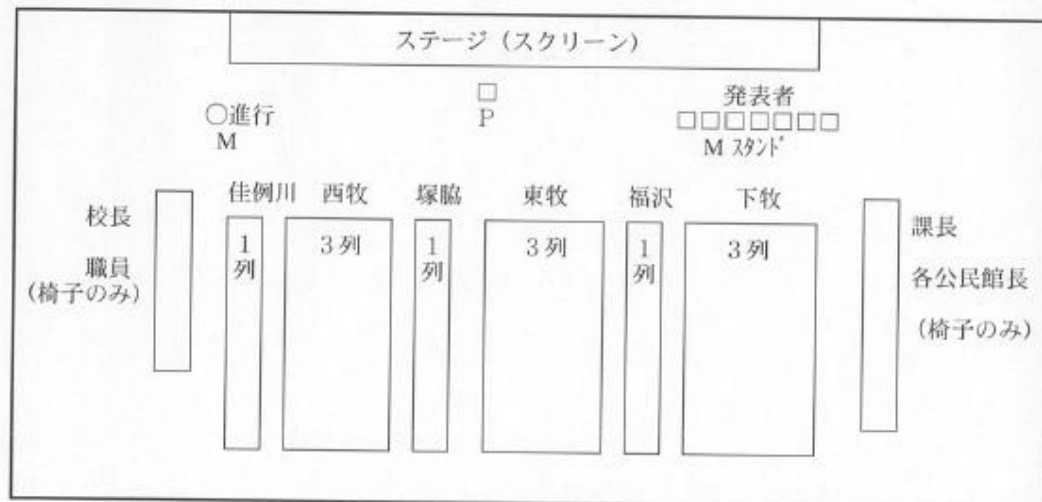
(4) 講評

- 地域振興課長 (福山総合支所長)
- 教 頭

(5) 閉会の言葉 (進行)

- ※ 各公民館ごとの発表は、5分以内とする(各公民館長の講評除く)。
- ※ 下牧之原・東牧之原・西牧之原は発表者のみ前が出る。
- ※ 発表者は意欲的に取り組んだ者及び自分の思いを伝えたいと意欲的な者とする。

5 会場図



- 6 その他
- 写真等の選定、発表者の指導等、各担当の先生方は大変かと思いますが、宜しく御指導ください。



タイムスケジュール

1. 佳例川の現状・観光農園の説明
2. 機械を使って草刈り
3. ブルーベリー農園の薫散き
4. ブルーベリーの収穫

佳例川の現状

- 高齢化が進んでいる。
- 人口が減ってきている。
- 荒れ地が多くなっている。

佳例川丸ごと観光農園

佳例川集落一帯を丸ごと観光農園にしようという構想が考えられている

↓

ブルーベリーやキウイフルーツなどの果物、ラッキョウなどの野菜の収穫体験
佳例川湧流米や、養無譚氏イモを使った焼酎の販売

機械を使っての草刈り

